

国連人権理事会 60 会期：SDGs 目標 16「平和と公正をすべての人に」に関する第 3 次世界中間報告の発表におけるフォルカー・テュルク国連人権高等弁務官の挨拶

2025/10/03

国連人権高等弁務官事務所

「人権は持続可能な開発のための 2030 アジェンダ全体の核であり、実現のための手段、原動力、目標である。今日発表した中間報告は、いくつかの成果を示している。世界中で殺人事件の発生率が減少し、表現の自由の重要な柱である情報へのアクセスは強化されている。出生届の普及は、多数の権利を行使する基盤である身分証明の取得を容易にし、多くの市民が基本的な公共サービスに満足している。そして今日、世界人口の半分以上が独立した国内人権機関によって守られている。一方、多くの懸念すべき傾向も示されている。人権を損なう行為や一部の指導者による国際法の軽視が、SDG 16 の全目標値の達成を妨げている。差別が広がり、裁判前の拘留が依然として行われ、女性や子どもに対する性暴力をはじめとした暴力が増加している。多くの人は政府の決定に関して発言権がないと感じており、女性の政治分野における代表性は平等とは程遠い。最近のデータによると、12 分間に 1 人の民間人が紛争で命を落とし、14 時間に 1 人の人権擁護家やジャーナリストが殺されたり、行方不明になったりしている。悪化する危機的な人権状況により、何百万人もの人が強制移住を余儀なくされている。平和を取り戻し、人権保護の措置を求めるには、暗闇の中で動くことはできない。それにはデータが重要な役割を果たす。現在の進展はまだ不十分だが、諦める理由にはならない。この報告書は、私たちを奮い立たせるもので、落胆させるものであってはならない」。

【記事全文】[High Commissioner Türk: Human rights are the golden thread of the 2030 Agenda](#)